

住宅・土地統計調査 調査票新旧対照表

第5回研究会からの変更点を赤字で記載

<調査票甲・乙>

I あなたの世帯について

2 世帯全員の1年間の収入（税込み）

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p><b>2 世帯全員の1年間の収入（税込み）</b></p> <p>・ボーナス・残業手当など臨時収入や配当金など財産収入 年金なども含めます          ・仕送り金も収入とします          ・自営業の場合は、売上高ではなく営業利益を記入してください</p> <p>100 100 150 200 300 400 500 700 1000 1500 2000          万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円以上</p>	<p><b>2 世帯全員の1年間の収入（税込み）</b></p> <p>・ボーナス・残業手当など臨時収入や配当金など財産収入 年金なども含めます          ・仕送り金も収入とします          ・自営業の場合は、売上高ではなく営業利益を記入してください</p> <p>100 100 200 300 400 500 700 1000 1500 2000          万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円未満 万円以上</p>

(変更)

「100～200万円未満」を分割し、「100～150万円未満」「150～200万円未満」とする。

(変更理由)

高齢単身世帯の増加や若年層の生活困窮、孤立・孤独対策の強化などを踏まえ、住まいのセーフティネットを今後より充実させていくためには、「100～200万円未満」の世帯の居住実態をより正確に把握する必要があるため。

3 あなたの住宅等に住んでいる別の世帯について（新規）

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p><b>3 あなたの住宅等に住んでいる別の世帯について</b></p> <p>【同居世帯】とは、あなたの世帯と住居は共にしているものの、生計を別にして世帯をいいます。（二世帯住宅で生計を別にして世帯を別にする場合や、単身者が友人と共同でアパートを借りて住んでいる場合など）</p> <p>(ア) 同居世帯の有無 <input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし (4欄へ)</p> <p>(イ) 同居世帯の世帯数 <input type="text"/>世帯</p> <p>(ウ) 同居世帯の世帯人員の合計 <input type="text"/>人 うち65歳以上の世帯人員 <input type="text"/>人</p>	

(新規理由)

- ・同居世帯への調査票配布を廃止し、主世帯に同居世帯の項目を記入させるため、「同居世帯の有無」、「同居世帯の世帯数」、「同居世帯の世帯人員の合計」を追加
- ・同居世帯における高齢者の人数を把握するため、「うち65歳以上の世帯人員」を追加
- ・同居世帯の定義は前回調査で『記入のしかた』に記載していたところ、調査票にも記載することとし、精度向上を図る。

Ⅱ 世帯の家計を主に支える人について

7 現住居への入居時期

Ⅲ 現住居について

14 建築の時期（完成の時期）※調査票乙 15

Ⅳ 現住居以外の敷地について

24 取得方法・取得時期等 ※調査票乙 26

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p><b>7 現住居への入居時期</b> ※生まれたときから住んでいる場合は 出生時を入居時期とします                  ・入居してから住居が建て替えられた場合は 建て替え以前の住居について記入してください                  令和5年 4年 3年 2年 令和元・平成28～30年 23～27年 18～22年 13～17年 3～12年 昭和56～平成2年 昭和46～55年 26～45年 昭和25年以前</p>	<p><b>6 現住居への入居時期</b> ※生まれたときから住んでいる場合は 出生時を入居時期とします                  ・入居してから住居が建て替えられた場合は 建て替え以前の住居について記入してください                  平成30年 29年 28年 27年 26年 23～25年 18～22年 13～17年 8～12年 3～7年 昭和56～平成2年 昭和46～55年 26～45年 昭和25年以前</p>
<p><b>14 建築の時期（完成の時期）</b>                  ・増改築や改修工事をした場合は その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば その時期を建築の時期とします                  令和5年 4年 3年 2年 令和元・平成28～30年 23～27年 18～22年 13～17年 3～12年 昭和56～平成2年 昭和46～55年 26～45年 昭和25年以前</p>	<p><b>12 建築の時期（完成の時期）</b>                  ・増改築や改修工事をした場合は その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば その時期を建築の時期とします                  平成30年 29年 28年 27年 26年 23～25年 18～22年 13～17年 8～12年 3～7年 昭和56～平成2年 昭和46～55年 26～45年 昭和25年以前</p>
<p><b>24 取得方法・取得時期等</b> 国・自治体・市町村 都道府県・市区町村 都市再生機構 IIR・公社など 会社などの法人 個人 相続・贈与 その他                  (ア)だれから買ったか 借りたりなどしたのですか                  (イ)いつ買ったか 借りたりなどしたのですか                  令和5年 4年 3年 2年 令和元・平成28～30年 23～27年 18～22年 13～17年 3～12年 昭和56～平成2年 昭和46～55年 26～45年 昭和25年以前</p>	<p><b>22 取得方法・取得時期等</b> 国・自治体・市町村 都道府県・市区町村 都市再生機構 IIR・公社など 会社などの法人 個人 相続・贈与 その他                  (ア)だれから買ったか 借りたりなどしたのですか                  (イ)いつ買ったか 借りたりなどしたのですか                  平成30年 29年 28年 27年 26年 23～25年 18～22年 13～17年 8～12年 3～7年 昭和56～平成2年 昭和46～55年 26～45年 昭和25年以前</p>

(変更)

- ① 「平成30年」「29年」「28年」「27年」「26年」「23～25年」の区分を「令和5年」「4年」「3年」「2年」「元年」「平成28～30年」に変更
- ② 「3～7年」及び「8～12年」の区分を「3～12年」に統合

(変更理由)

- ① ②調査時点の推移に対応した区分に変更する。

(その他)

平成30年住宅・土地統計調査統計委員会答申に対する対応として、西暦の併記については、余白の関係で調査票に設けることは困難なため、記入のしかたに対応表を掲載することを検討する。

諮問第109号の答申 住宅・土地統計調査の変更について

(平成30年1月18日統計委第3号) (抜粋)

(4)「現住居への入居時期」等については、「昭和」及び「平成」を付した選択肢区分により把握し、集計・公表しているが、新たな元号の追加も予定されており、換算も複雑となることから、報告者の負担軽減や統計利用者の利便性等にも配慮し、西暦を併記する方向で検討すること。

## II 世帯の家計を主に支える人について

### 8 前住居

#### (イ) その居住室全体の広さは何畳でしたか

令和5年調査 (案)	平成30年調査
<p>(イ) その住居の床面積の合計 (延べ面積)</p> <p>□ □ □ □ □ 平方メートル</p> <p>又は □ □ □ □ □ 坪</p>	<p>(イ) その居住室全体の広さは何畳でしたか</p> <p>※洋室の場合も畳数に含めます ・食事室兼台所 (ダイニング・キッチン) は居住室に含めますが、流しなどの部分を除いた広さが畳に満たない部分は含めません</p> <p>その畳数</p> <p>(小数第1位まで) □ □ □ □ □ 畳</p> <p>(小数点以下は四捨五入) 又は □ □ □ □ □ 平方メートル</p>
<p>・現住居の居住室の畳数の削除について、内閣府と調整中</p> <p>・削除可能となった際は、住居移動に伴う現住居との面積比較を引き続き可能とするため、畳数を削除する代替として、床面積 (延べ面積) を調査する。</p>	

## III 現住居について

### 9 居住室

令和5年調査 (案)	平成30年調査
<p>9 居住室</p> <p>室数の合計及びその畳数</p> <p>□ □ □ □ □ 室 → □ □ □ □ □ 畳 (小数第1位まで) (小数点以下は四捨五入)</p> <p>又は □ □ □ □ □ 平方メートル</p> <p>うち同居世帯が専用で使用する室数の合計及びその畳数</p> <p>3欄「ア」でありと回答した世帯のみ記入してください</p> <p>□ □ □ □ □ 室 → □ □ □ □ □ 畳 (小数第1位まで) (小数点以下は四捨五入)</p> <p>又は □ □ □ □ □ 平方メートル</p>	<p>III 現住居について 同居世帯では、8欄から10欄を記入した後、20欄 (第4面) に進んでください。</p> <p>8 居住室</p> <p>室数の合計及びその畳数</p> <p>□ □ □ □ □ 室 → □ □ □ □ □ 畳 (小数第1位まで) (小数点以下は四捨五入)</p> <p>又は □ □ □ □ □ 平方メートル</p> <p>※着色された箇所が記入の対象になります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している室も含めます</li> <li>同居世帯では、使用している室数の合計とその畳数を書いてください</li> <li>食事室兼台所 (ダイニング・キッチン) は居住室に含めますが、流しなどの部分を除いた広さが畳に満たない場合は含めません</li> </ul>
<p>(変更)</p> <p>① 「その畳数」の削除 (調整中)</p> <p>「うち同居世帯が専用で使用する室数の合計及びその畳数」の追加</p> <p>(変更理由)</p> <p>① 記入者負担軽減のため (調整中)</p> <p>同居世帯への調査票配布を廃止し、主世帯に同居世帯の項目を記入させるため</p>	

10 持ち家か 借家かなどの別

令和5年調査 (案)	平成30年調査

(変更案)

「住宅に間借り」を削除

(変更理由)

同居世帯への調査票配布を廃止し、主世帯に同居世帯の項目を記入させるため

11 1か月の家賃又は間代及び共益費又は管理費 ※調査票乙 12

令和5年調査 (案)	平成30年調査

(変更案)

「同居世帯が負担している1ヶ月の家賃等」を追加

(変更理由)

同居世帯への調査票配布を廃止し、主世帯に同居世帯の項目を記入させるため

12 住宅の構造（新規） ※調査票乙 13

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p><b>12 住宅の構造</b> ・二つ以上の構造からなる住宅の場合、床面積の広いほうの構造を回答してください</p> <p>木造 ○      鉄筋・鉄骨コンクリート造 ○      鉄骨造 ○      その他（ブロック作り、レンガ造りなど） ○</p>	<p>【建物調査票】</p> <p>(4) 構造 木造（防火木造を除く） 防火木造 鉄筋・鉄骨コンクリート造 鉄骨造 その他</p>
<p>(変更案)</p> <p>① 建物調査票からの移設</p> <p>② 木造（防火木造を除く）及び防火木造の統合</p> <p>(変更理由)</p> <p>① 木目調建材や不燃木材の普及に伴い、調査員が住宅の外観のみでは構造を確認することが難しくなっているため、世帯に回答させることとする。調査員から世帯に報告者の変更を行うことでの結果への影響は、試験調査で検証する。</p> <p>② 木造（防火木造を除く）及び防火木造の別が防火の判定方法として必ずしも有用ではなくなっている状況を踏まえて、これら2区分を統合する。</p>	

13 床面積 ※調査票乙 14

うち1階の床面積

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p><b>13 床面積</b></p> <p>床面積の合計（延べ面積） ※小数点以下は四捨五入してください</p> <p>うち1階の床面積 借家に居住している世帯、及び持ち家でもアパート・マンションなどの共同住宅に居住している世帯は記入不要です</p> <p>※着色された箇所が記入の対象になります</p>	<p><b>11 床面積</b> ※小数点以下は四捨五入してください</p> <p>床面積の合計（延べ面積）      うち1階の床面積</p> <p>※着色された箇所が記入の対象になります ・アパート・マンションなどの共同住宅の場合は、専用の部分の床面積を「床面積の合計」欄にのみ書いてください</p>
<p>(変更案)</p> <p>① 「借家に居住している世帯、及び持ち家でもアパート・マンションなどの共同住宅に居住している世帯は記入不要です」を追加</p> <p>② 「・アパート・マンションなどの共同住宅の場合は、専用の部分の床面積を「床面積の合計」欄にのみ書いてください」を削除</p> <p>(変更理由)</p> <p>① ② 当該項目は「敷地面積に対する建築面積の割合」を把握するための調査項目であり、「23 敷地面積（乙25）」の報告を持ち家に限定するため</p>	

16 高齢者等のための設備等

浴室暖房乾燥機 ※調査票乙 17

令和5年調査 (案)	平成30年調査
<p>16 高齢者等のための設備等 ・当てはまるものすべてに記入してください</p> <p>手すりがある  <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 脱衣所 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 居住室 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>またぎやすい  <input type="checkbox"/> 高さの浴槽 <input type="checkbox"/> 浴室暖房乾燥機 <input type="checkbox"/> 廊下などが  <input type="checkbox"/> 車いすで  <input type="checkbox"/> 通行可能な  <input type="checkbox"/> 段差のない  <input type="checkbox"/> 室内  <input type="checkbox"/> 道路から玄関  <input type="checkbox"/> まで車いす  <input type="checkbox"/> 通行可能  <input type="checkbox"/> これらの  <input type="checkbox"/> 設備はない</p>	<p>14 高齢者等のための設備等 ・当てはまるものすべてに記入してください</p> <p>手すりがある  <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 脱衣所 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 居住室 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>またぎやすい  <input type="checkbox"/> 高さの浴槽 <input type="checkbox"/> 廊下などが  <input type="checkbox"/> 車いす  <input type="checkbox"/> 通行可能な  <input type="checkbox"/> 段差のない  <input type="checkbox"/> 室内  <input type="checkbox"/> 道路から玄関  <input type="checkbox"/> まで車いす  <input type="checkbox"/> 通行可能  <input type="checkbox"/> これらの  <input type="checkbox"/> 設備はない</p>
<p>(新設理由)</p> <p>ヒートショック対策等の観点を踏まえた良好な温熱環境を備えた住宅の割合を把握するため</p>	

19 平成31年1月以降の住宅の増改築 改修工事等 ※調査票乙 20

20 平成31年1月以降における住宅の耐震診断の有無 ※調査票乙 21


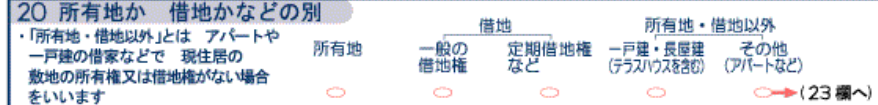
21 平成31年1月以降における住宅の耐震改修工事の有無 ※調査票乙 22

令和5年調査 (案)	平成30年調査
<p>19 平成31年1月以降の住宅の増改築 改修工事等</p> <p>(ア) 住宅の増改築や改修工事等をしたか          増改築や改修工事等をした  <input type="checkbox"/> 増築・増取り <input type="checkbox"/> 台所・トイレ・浴室 <input type="checkbox"/> 天井・壁・床等の <input type="checkbox"/> 屋根・外壁等 <input type="checkbox"/> 壁・柱・基礎等 <input type="checkbox"/> 窓等の断熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> していない</p> <p>(イ) 高齢者等のための設備の工事をしたか          工事した <input type="checkbox"/> 工事した <input type="checkbox"/> 工事した <input type="checkbox"/> 工事した <input type="checkbox"/> 工事した <input type="checkbox"/> 工事していない</p> <p>・将来に備えて工事した場合も含めます  <input type="checkbox"/> 階段や廊下の <input type="checkbox"/> 手すりの設置 <input type="checkbox"/> 屋内の段差 <input type="checkbox"/> の解消 <input type="checkbox"/> 浴室の工事 <input type="checkbox"/> トイレの工事 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>20 平成31年1月以降における住宅の耐震診断の有無</p> <p>耐震診断をした  <input type="checkbox"/> 耐震性が確保されていた <input type="checkbox"/> 耐震性が確保されていなかった</p> <p>耐震診断をしていない <input type="checkbox"/></p> <p>21 平成31年1月以降における住宅の耐震改修工事の有無</p> <p>・当てはまるものすべてに記入してください  <input type="checkbox"/> 壁の新設・補強 <input type="checkbox"/> 筋かいの設置 <input type="checkbox"/> 基礎の補強 <input type="checkbox"/> 金具による補強 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> していない</p>	<p>17 平成26年1月以降の住宅の増改築 改修工事等</p> <p>(ア) 住宅の増改築や改修工事等をしたか          増改築や改修工事等をした  <input type="checkbox"/> 増築・増取り <input type="checkbox"/> 台所・トイレ・浴室 <input type="checkbox"/> 天井・壁・床等の <input type="checkbox"/> 屋根・外壁等 <input type="checkbox"/> 壁・柱・基礎等 <input type="checkbox"/> 窓等の断熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> していない</p> <p>(イ) 高齢者等のための設備の工事をしたか          工事した <input type="checkbox"/> 工事した <input type="checkbox"/> 工事した <input type="checkbox"/> 工事した <input type="checkbox"/> 工事していない</p> <p>・将来に備えて工事した場合も含めます  <input type="checkbox"/> 階段や廊下の <input type="checkbox"/> 手すりの設置 <input type="checkbox"/> 屋内の段差 <input type="checkbox"/> の解消 <input type="checkbox"/> 浴室の工事 <input type="checkbox"/> トイレの工事 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>18 平成26年1月以降における住宅の耐震診断の有無</p> <p>耐震診断をした  <input type="checkbox"/> 耐震性が確保されていた <input type="checkbox"/> 耐震性が確保されていなかった</p> <p>耐震診断をしていない <input type="checkbox"/></p> <p>19 平成26年1月以降における住宅の耐震改修工事の有無</p> <p>・当てはまるものすべてに記入してください  <input type="checkbox"/> 壁の新設・補強 <input type="checkbox"/> 筋かいの設置 <input type="checkbox"/> 基礎の補強 <input type="checkbox"/> 金具による補強 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> していない</p>
<p>(変更案)</p> <p>「平成26年1月以降」を「平成31年1月以降」に変更</p> <p>(変更理由)</p> <p>調査時点の推移に対応した区分に変更する。</p>	

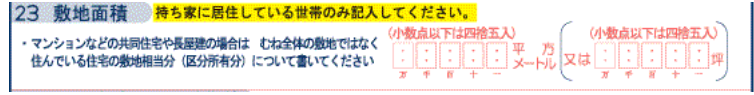
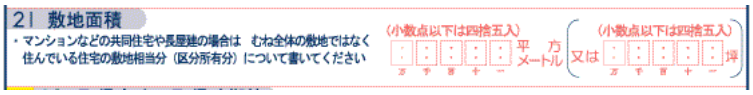


#### IV 現住居の敷地について

##### 22 所有地か 借地かの別 ※調査票乙 23

令和 5 年調査 (案)	平成 30 年調査
 <p>22 所有地か 借地かなどの別          ・「所有地・借地以外」とは アパートや一戸建の借家などで 現住居の敷地の所有権又は借地権がない場合をいいます          所有地      借地 (一般の借地権, 定期借地権など)      所有地・借地以外          (25欄へ)</p>	 <p>20 所有地か 借地かなどの別          ・「所有地・借地以外」とは アパートや一戸建の借家などで 現住居の敷地の所有権又は借地権がない場合をいいます          所有地      借地 (一般の借地権, 定期借地権など)      所有地・借地以外 (一戸建・長屋建(テラスハウスを含む), その他(アパートなど))          (23欄へ)</p>
(変更案) 「所有地・借地以外」の「一戸建・長屋建 (テラスハウスを含む)」「その他 (アパートなど)」の 2 区分を削除 (変更理由) 記入者負担軽減のため、現住居の敷地については、「持ち家」の世帯に限定させるため	

##### 23 敷地面積 ※調査票乙 25

令和 5 年調査 (案)	平成 30 年調査
 <p>23 敷地面積 持ち家に居住している世帯のみ記入してください。          ・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は むね全体の敷地ではなく 住んでいる住宅の敷地相当分 (区分所有分) について書いてください          (小数点以下は四捨五入) [ □ □ □ □ □ 平 方 メートル ] または [ □ □ □ □ □ 坪 ]</p>	 <p>21 敷地面積          ・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は むね全体の敷地ではなく 住んでいる住宅の敷地相当分 (区分所有分) について書いてください          (小数点以下は四捨五入) [ □ □ □ □ □ 平 方 メートル ] または [ □ □ □ □ □ 坪 ]</p>
(変更案) 「持ち家に居住している世帯のみ記入してください」を追加 (変更理由) 記入者負担軽減のため、現住居の敷地については、「持ち家」の世帯に限定させるため	

<調査票甲のみ>

~~V 現住居以外の住宅及び土地の所有について~~

~~25 現住居以外の住宅~~

~~-(イ) 住宅の種類~~

~~-(2) 居住世帯のない住宅(空き家)~~

<del>令和5年調査(案)</del>	平成30年調査
<del>(2)居住世帯のない住宅(空き家) 別荘用 二次的住宅用 貸家用 売却用 その他</del>	<del>(2)居住世帯のない住宅(空き家) 二次的住宅・別荘用 貸家用 売却用 その他</del>

~~-(変更案)~~

~~「二次的住宅・別荘用」を「別荘用」「二次的住宅」に分割~~

~~-(変更理由)~~

~~余暇のために使用する「別荘用」を分離することで、二地域居住の実態を把握するため~~

~~-(その他)~~

- ~~・住生活基本計画において、ライフスタイルの変化に伴う二地域居住・多地域居住を推進することが明記されており、二次的住宅を単独で把握するについて、政策的なニーズが認められるところ。~~
- ~~・また、住宅・土地統計調査における当該区分の定義を二つに分割することも可能である。~~

~~住生活基本計画(令和3年3月19日閣議決定)(抜粋)~~

~~目標7 空き家の状況に応じた適切な管理・除却・利活用の一体的推進~~

~~-(2) 立地・管理状況の良好な空き家の多様な利活用の推進~~

~~-(基本的な施策)~~

~~○ 空き家・空き地バンクを活用しつつ、地方公共団体と民間団体等が連携して古民家等の空き家の改修・DIY 等を進め、セカンドハウスやシェア型住宅、一時滞在施設での居住、サブスクリプション型居住等、多様な多様な二地域居住・多地域居住を推進~~

分割

~~平成30年住宅・土地統計調査 調査の手引き(抜粋)~~

~~二次的住宅・別荘用 …… 残業で遅くなったときに寝泊まりするなど、たまに使用する住宅や、週末や休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で利用する、いわゆる別荘~~

<調査票乙のみ>



V ~~現住居以外の住宅の所有について~~

27 ~~現住居以外の住宅~~

~~(イ) 何戸所有していますか~~

~~(2) 居住世帯のない住宅(空き家)~~

令和5年調査(案)	平成30年調査																		
<p>無い場合は33欄へ</p> <p>(2) 居住世帯のない住宅(空き家)</p> <table border="1"> <tr> <td>別荘用 (小数第1位まで)</td> <td>二次的住宅用 (小数第1位まで)</td> <td>貸家用 (小数第1位まで)</td> <td>売却用 (小数第1位まで)</td> <td>その他 (小数第1位まで)</td> </tr> <tr> <td>□□□□□</td> <td>□□□□□</td> <td>□□□□□</td> <td>□□□□□</td> <td>□□□□□</td> </tr> </table>	別荘用 (小数第1位まで)	二次的住宅用 (小数第1位まで)	貸家用 (小数第1位まで)	売却用 (小数第1位まで)	その他 (小数第1位まで)	□□□□□	□□□□□	□□□□□	□□□□□	□□□□□	<p>(2) 居住世帯のない住宅(空き家)</p> <table border="1"> <tr> <td>二次的住宅・別荘用 (小数第1位まで)</td> <td>貸家用 (小数第1位まで)</td> <td>売却用 (小数第1位まで)</td> <td>その他 (小数第1位まで)</td> </tr> <tr> <td>□□□□□</td> <td>□□□□□</td> <td>□□□□□</td> <td>□□□□□</td> </tr> </table>	二次的住宅・別荘用 (小数第1位まで)	貸家用 (小数第1位まで)	売却用 (小数第1位まで)	その他 (小数第1位まで)	□□□□□	□□□□□	□□□□□	□□□□□
別荘用 (小数第1位まで)	二次的住宅用 (小数第1位まで)	貸家用 (小数第1位まで)	売却用 (小数第1位まで)	その他 (小数第1位まで)															
□□□□□	□□□□□	□□□□□	□□□□□	□□□□□															
二次的住宅・別荘用 (小数第1位まで)	貸家用 (小数第1位まで)	売却用 (小数第1位まで)	その他 (小数第1位まで)																
□□□□□	□□□□□	□□□□□	□□□□□																

~~(変更案)~~

~~「二次的住宅・別荘用」を「別荘用」「二次的住宅」に分割~~

~~(変更理由)~~

~~余暇のために使用する「別荘用」を分離することで、二地域居住の実態を把握するため~~

~~(その他)~~

- ~~・住生活基本計画において、ライフスタイルの変化に応じた多様な二地域居住・多地域居住を推進することが明記されており、二次的住宅を単独で把握するについて、政策的なニーズが認められる。~~
- ~~・また、住宅・土地統計調査における当該区分の定義を二つに分割することも可能である。~~

~~住生活基本計画(令和3年3月19日閣議決定)(抜粋)~~

~~目標7 空き家の状況に応じた適切な管理・除却・利活用の一体的推進~~

~~(2) 立地・管理状況の良好な空き家の多様な利活用の推進~~

~~(基本的な施策)~~

~~○ 空き家・空き地バンクを活用しつつ、地方公共団体と民間団体等が連携して古民家等の空き家の改修・DIY 等を進め、セカンドハウスやシェア型住宅、一時滞在施設での居住、サブスクリプション型居住等、**多様な二地域居住・多地域居住を推進**~~

分割

~~平成30年住宅・土地統計調査 調査の手引き(抜粋)~~

~~二次的住宅・別荘用 …… 残業で遅くなったときに寝泊まりするなど、たまに使用する住宅や、週末や休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で利用する、いわゆる別荘~~

VI 居住世帯のない住宅（空き家）「その他」の所有状況

31 建築の時期

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p><b>31 建築の時期</b></p> <p>令和3～5年   平成23～令和2年   平成13～22年   3～12年   昭和56～平成2年   昭和46～55年   昭和45年以前</p>	<p><b>29 建築の時期</b></p> <p>平成23～30年   13～22年   3～12年   昭和56～平成2年   昭和46～55年   昭和45年以前</p>
<p>(変更)</p> <p>① 「平成23～30年」の区分を「平成23～令和2年」に変更</p> <p>② 「令和3～5年」を追加</p> <p>(変更理由)</p> <p>① ②調査時点の推移に対応した区分に変更する。</p>	

VIII 現住居の敷地以外に所有する宅地など

38 土地の取得時期

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p><b>38 土地の取得時期</b></p> <p>令和3～5年   平成23～令和2年   平成13～22年   3～12年   昭和56～平成2年   昭和46～55年   昭和45年以前</p>	<p><b>36 土地の取得時期</b></p> <p>平成28～30年   23～27年   13～22年   3～12年   昭和56～平成2年   昭和46～55年   昭和45年以前</p>
<p>(変更)</p> <p>① 「平成23～27年」「平成28～30年」の区分を「平成23～令和2年」に統合</p> <p>② 「令和3～5年」を追加</p> <p>(変更理由)</p> <p>① ②調査時点の推移に対応した区分に変更する。</p>	

調査員記入欄

世帯の種類

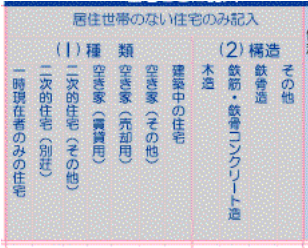
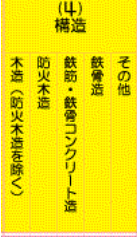
令和5年調査（案）	平成30年調査				
<p>【削除】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">&lt;調査員記入欄（世帯では記入しないでください）&gt;</p> <p style="text-align: center; margin: 0;">世帯の種類</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>住宅に居住している世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主世帯</li> <li>○ 同居世帯</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>住宅以外の建物に居住している世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会社等の寮・寄宿舎</li> <li>○ 学校等の寮・寄宿舎</li> <li>○ 旅館・宿泊所</li> <li>○ その他の建物</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理者・家主などの世帯</li> <li>○ 一般の世帯</li> <li>○ 単身世帯</li> </ul> </td> </tr> </table> </div>	<p>住宅に居住している世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主世帯</li> <li>○ 同居世帯</li> </ul>	<p>住宅以外の建物に居住している世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会社等の寮・寄宿舎</li> <li>○ 学校等の寮・寄宿舎</li> <li>○ 旅館・宿泊所</li> <li>○ その他の建物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理者・家主などの世帯</li> <li>○ 一般の世帯</li> <li>○ 単身世帯</li> </ul>	
<p>住宅に居住している世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主世帯</li> <li>○ 同居世帯</li> </ul>	<p>住宅以外の建物に居住している世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会社等の寮・寄宿舎</li> <li>○ 学校等の寮・寄宿舎</li> <li>○ 旅館・宿泊所</li> <li>○ その他の建物</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理者・家主などの世帯</li> <li>○ 一般の世帯</li> <li>○ 単身世帯</li> </ul>					
<p>（削除理由）</p> <p>建物調査票に移設</p>					

市区町村コード、行番号（新規）

令和5年調査（案）	平成30年調査
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">事務使用欄 市区町村コード 調査単位区番号 行番号 建物番号 住宅番号 調査票番号</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">事務使用欄 調査単位区番号 建物番号 住宅番号 調査票番号</p> <p style="font-size: small; margin: 0;">□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□</p> </div>
<p>（新規理由）</p> <p>市区町村における調査票提出状況の確認作業の効率化を図るため</p>	

<建物調査票>

(2) 構造

令和 5 年調査 (案)	平成 30 年調査
	
<p>(変更)</p> <p>① 「居住世帯の無い住宅のみ記入」に追加</p> <p>② 木造（防火木造を除く）及び防火木造の統合</p> <p>(変更理由)</p> <p>① 引き続き空き家の構造把握を行うためには、調査員により、居住世帯の無い住宅のみ調査する必要があるため</p> <p>② 木造（防火木造を除く）及び防火木造の別が防火の判定方法として必ずしも有用ではなくなっている状況を踏まえて、これら 2 区分を統合する。</p>	

(4) 住宅以外の建物の種類（新規）

(5) 世帯の種類（新規）

令和5年調査（案）	平成30年調査												
<p><b>住宅以外の建物のみ記入</b></p> <table border="1"> <tr> <td>(4) 建物の種類</td> <td>(5) 世帯の種類</td> </tr> <tr> <td>                     高齢者居住施設                      会社等の寮・寄宿舎                      学校等の寮・寄宿舎                      旅館・宿泊所                      その他の建物                 </td> <td>                     単身者世帯                      一般の世帯                      管理者・家主などの世帯                 </td> </tr> </table>	(4) 建物の種類	(5) 世帯の種類	高齢者居住施設 会社等の寮・寄宿舎 学校等の寮・寄宿舎 旅館・宿泊所 その他の建物	単身者世帯 一般の世帯 管理者・家主などの世帯	<p>&lt;調査員記入欄（世帯では記入しないでください）&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">世帯の種類</th> </tr> <tr> <td>住宅に居住している世帯</td> <td>住宅以外の建物に居住している世帯</td> </tr> <tr> <td> <input type="radio"/> 主世帯   <input type="radio"/> 同居世帯                 </td> <td> <input type="radio"/> 会社等の寮・寄宿舎  <input type="radio"/> 学校等の寮・寄宿舎  <input type="radio"/> 旅館・宿泊所  <input type="radio"/> その他の建物                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <input type="radio"/> 管理者・家主などの世帯  <input type="radio"/> 一般の世帯  <input type="radio"/> 単身者世帯                 </td> </tr> </table>	世帯の種類		住宅に居住している世帯	住宅以外の建物に居住している世帯	<input type="radio"/> 主世帯  <input type="radio"/> 同居世帯	<input type="radio"/> 会社等の寮・寄宿舎 <input type="radio"/> 学校等の寮・寄宿舎 <input type="radio"/> 旅館・宿泊所 <input type="radio"/> その他の建物		<input type="radio"/> 管理者・家主などの世帯 <input type="radio"/> 一般の世帯 <input type="radio"/> 単身者世帯
(4) 建物の種類	(5) 世帯の種類												
高齢者居住施設 会社等の寮・寄宿舎 学校等の寮・寄宿舎 旅館・宿泊所 その他の建物	単身者世帯 一般の世帯 管理者・家主などの世帯												
世帯の種類													
住宅に居住している世帯	住宅以外の建物に居住している世帯												
<input type="radio"/> 主世帯  <input type="radio"/> 同居世帯	<input type="radio"/> 会社等の寮・寄宿舎 <input type="radio"/> 学校等の寮・寄宿舎 <input type="radio"/> 旅館・宿泊所 <input type="radio"/> その他の建物												
	<input type="radio"/> 管理者・家主などの世帯 <input type="radio"/> 一般の世帯 <input type="radio"/> 単身者世帯												
<p>(新規理由)</p> <p>① 世帯の種類（主世帯、同居世帯）を統合することに伴い、調査票甲・乙の調査員記入欄から移設</p> <p>② 高齢者居住施設の増加に伴い、実態を把握するため、従来「その他の建物」に含まれていた「高齢者居住施設」を細分化</p> <p>(検討事項)</p> <p>高齢者居住施設の定義を明確にし、調査員が円滑に記入できるようにする。</p>													

(13) 高齢者対応型住宅の別

令和5年調査（案）	平成30年調査
<p>(13) 高齢者対応型住宅の別</p> <p>サービス付高齢者住宅 高齢者専用賃貸住宅 高齢者向け賃貸住宅 高齢者向け住宅</p>	<p>(11) 高齢者対応型住宅の別</p> <p>高齢者専用賃貸住宅 高齢者向け賃貸住宅 高齢者向け住宅</p>
<p>(変更案)</p> <p>高齢者対応型住宅の内数として、「サービス付高齢者住宅」を追加する。</p> <p>(変更理由)</p> <p>サービス付高齢者住宅に居住する高齢者世帯の実態を明らかにするために、高齢者対応型住宅を細分化し、サービス付き高齢者住宅を追加</p> <p>(検討事項)</p> <p>サービス付高齢者住宅の定義を明確にし、調査員が円滑に記入できるようにする。</p>	